



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年4月27日

上場会社名 株式会社enish 上場取引所 東
 コード番号 3667 URL http://www.enish.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03(6447)4020
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	1,043	△17.9	△202	-	△201	-	△201	-
28年12月期第1四半期	1,271	△16.4	△41	-	△43	-	△43	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	△25.84	-
28年12月期第1四半期	△6.08	-

(注) 平成28年12月期第1四半期及び平成29年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	1,907	1,483	77.8	190.12
28年12月期	2,177	1,685	77.4	215.96

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 1,483百万円 28年12月期 1,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
29年12月期	-	-	-	-	-
29年12月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成29年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 平成29年12月期の業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

平成29年12月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期1Q	7,800,800株	28年12月期	7,800,800株
29年12月期1Q	-株	28年12月期	-株
29年12月期1Q	7,800,800株	28年12月期1Q	7,186,938株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、企業収益の回復や個人消費の持ち直しの動きがみられ、緩やかな景気回復基調が継続しております。

当社の主な事業領域である、モバイルゲーム事業を取り巻く環境につきましては、引き続きスマートフォンの契約数は順調に推移しており、また国内モバイルゲーム市場についても成長率の鈍化はみられるものの、ネイティブアプリケーション（注）を中心に今後も拡大していく見通しであります。

このような事業環境の中、当社では当第1四半期累計期間においては、既存タイトルに関しては、注力タイトルはゲーム内の施策を強化及び運営品質の改善を行い、引き続き売上収益に貢献している中、環境の変化に対応するため、ネイティブアプリケーションタイトルへ注力していく方針に伴い、経営資源の選択と集中の観点から、注力タイトル以外のタイトル譲渡を進めております。当第1四半期累計期間においては、タイトル譲渡の影響もあり売上高が減少しましたが、リリース1周年を迎えましたネイティブアプリケーションタイトル「12オーディンズ」は、累計200万ダウンロードを突破し、大型コラボレーションの実施やプロモーションの強化により売上高が好調に推移いたしました。

また、非ゲーム事業においては、ファッションレンタルサービス「EDIST. CLOSET」が、人気スタイリストやアパレルとコラボレーションした旬のコーディネートセットが人気を獲得し、順調に会員数が増加しております。今後も仕事や家事・育児に忙しいすべての女性に、より豊かなライフスタイルを送るサポートができるよう、サービス提供を行ってまいります。

足元の状況といたしましては、ゲーム事業においては、OPD2C社(上海東方明珠迪尔希文化传媒有限公司)と独占的ライセンス契約を締結し「12オーディンズ」を中国にて配信することも決定しており、今後、中国・台湾・香港・マカオと海外展開も期待されます。非ゲーム事業においては、人気占い師のイヴルルド遙華氏が全面監修する婚活アプリ「metune」をリリースいたしました。オンライン結婚・恋愛マッチングサービスの市場規模は年々増加しており、今後の収益寄与が期待されます。

当事業年度においては、ネイティブアプリケーション1タイトルのリリースと、ゲーム周辺事業のサービス展開を予定しており、引き続き安定した収益基盤の構築に努めてまいります。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は1,043百万円（前年同四半期比17.9%の減少）、営業損失は202百万円、経常損失は201百万円、四半期純損失は201百万円となっております。

（注）ネイティブアプリケーションとは、特定のコンピューターの機種やOS上で直接実行可能なプログラムで構成されたアプリケーションソフトウェアのことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて262百万円減少し、1,487百万円となりました。これは主に、流動資産その他の減少（前事業年度末比236百万円の減少）によるものであります。固定資産につきましては、前事業年度末に比べて7百万円減少し、419百万円となりました。これは主に、減価償却費によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ270百万円減少し、1,907百万円となりました。

（負債）

当第1四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて68百万円減少し、360百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少（前事業年度末比62百万円の減少）によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ68百万円減少し、423百万円となりました。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて201百万円減少し、1,483百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期につきましては、既存タイトルの売上減少の制御を行い、安定した収益基盤の構築を努めるとともに、クオリティの高いネイティブアプリケーションタイトルの開発・リリースを行ってまいります。非ゲーム事業においては、当社の強みを活かしたサービス展開を推進してまいります。

モバイルゲーム事業を取り巻く環境は変化が激しく、当社の事業も短期間に大きく変動する可能性があることから、信頼性の高い業績予想数値を算出することが困難となっているため、決算業績及び事業の概況の速やかな開示に努め、業績予想については開示を見合わせます。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において重要な営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。

当第1四半期累計期間において、依然営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが生じております。

以上により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、①プロダクトポートフォリオの見直し及び品質管理による収益力の強化、②資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。これらの改善策を状況に応じて適切に推進していくことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	878,660	910,044
売掛金	558,362	501,441
その他	313,046	76,146
流動資産合計	1,750,069	1,487,632
固定資産		
有形固定資産	131,212	128,456
無形固定資産	37,044	31,805
投資その他の資産		
敷金及び保証金	237,229	237,229
その他	90,090	90,090
貸倒引当金	△68,000	△68,000
投資その他の資産合計	259,319	259,319
固定資産合計	427,576	419,581
資産合計	2,177,646	1,907,214
負債の部		
流動負債		
買掛金	69,605	79,623
短期借入金	137,520	75,040
その他	221,498	205,601
流動負債合計	428,623	360,265
固定負債		
資産除去債務	49,199	49,232
繰延税金負債	10,690	10,431
その他	3,351	3,351
固定負債合計	63,242	63,015
負債合計	491,866	423,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,169,245	1,169,245
資本剰余金	1,168,245	1,168,245
利益剰余金	△652,828	△854,383
株主資本合計	1,684,662	1,483,108
新株予約権	1,117	825
純資産合計	1,685,780	1,483,933
負債純資産合計	2,177,646	1,907,214

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,271,289	1,043,353
売上原価	1,128,347	930,582
売上総利益	142,942	112,770
販売費及び一般管理費	184,641	315,204
営業損失(△)	△41,699	△202,434
営業外収益		
受取利息	101	6
固定資産売却益	280	—
未払配当金除斥益	—	1,490
その他	89	377
営業外収益合計	471	1,875
営業外費用		
支払利息	725	681
為替差損	1,198	—
営業外費用合計	1,923	681
経常損失(△)	△43,151	△201,240
税引前四半期純損失(△)	△43,151	△201,240
法人税、住民税及び事業税	572	573
法人税等調整額	—	△258
法人税等合計	572	314
四半期純損失(△)	△43,723	△201,554

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、モバイルゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。